



人づくり  
産地づくり  
ブランドづくり

# くらしき 普及指導センターだより 2015



岡山県備中県民局農林水産事業部  
備南広域農業普及指導センター

## 目 次

### 特集 育てよう！水田農業の担い手

1 集落営農組織の育成	1
2 個別経営体の経営力強化	2
3 水稻・麦の省力低コスト技術の普及	3
4 複合経営モデルの育成	3

### 力入れています！

お盆過ぎても、ももを食べて！晩生ももの推進	4
将来の産地の姿は自分たちで	4
おいしい「紫苑」の魅力を知ってほしい！！	5
きょうも東京へ白桃便は飛ぶ	5
連島ごぼうに情報の風～☆	6
春ねぎ栽培に取り組んでいます！	6
スイートピーの落蕾を防ぐには	7
新規参入者さん、いらっしゃい！	7
農家のための経営研修会を開催しました	8
「初心者講座」開催で農業者の6次産業化の夢を“見える化”	8

### ご存じですか？

稲SGSに期待！	9
牛のサシバエ対策	9
夢のある元気な農業経営のために	10

受賞おめでとうございます ······ 11

新しく農業始めます！どうぞよろしく ······ 12

はじめまして！新農業士です ······ 13

#### 〈表紙写真の説明〉

- (上) 稲作研究会会員による相互訪問研修
- (左下) ももの摘果講習会
- (右下) たまねぎ機械収穫実演会

#### 〈裏表紙写真の説明〉

- (左上) 総社のりんどう初出荷目合わせ会
- (左下) ごぼうの出荷がんばるぞー！おー！
- (中上) 就農相談会で後継者クラブ員が対応
- (中) 出穂期だぞ☆総社の赤米
- (中下) エコサマースクールの開催
- (右上) 農業経営コンサルテーションを実施
- (右下) パティシエからスイーツ作りを学ぶ

# 特集 育てよう！水田農業の担い手

## 1. 集落営農組織の育成

倉敷地域では、総社市・倉敷市真備町を中心に、基盤整備を契機とした集落営農の組織化を進め、17組織が育成されています。

普及指導センターは、市、農協、農協中央会等と支援チームを結成し、集落営農の法人化や組織化をサポートしています。

### (1) 組織化・法人化への支援

集落営農が将来も地域の農地を守り、計画的に経営ができるように法人化を進め、23年から5組織が法人化しました。さらに本年新たに1組織が法人化し、合計6組織となりました。

27年度も法人化を目指す活動を支援し、事業計画や定款作成、設立総会の開催など、スケジュール管理、具体的な手続きを支援しています。

また組織化の意向が強い地区では、アンケート等を行い、地区の合意形成を支援しています。



法人化準備会の開催

### (2) 吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク（吉備路ネットワーク）活動支援

農業を取り巻く環境が厳しい中、水田農業の担い手が、共通の課題や悩みを話し合い、お互いに助け合う組織として「吉備路ネットワーク（集落営農組織等14経営体、個別経営体20経営体）」が設立され、普及指導センターでは、その活動と運営を支援しています。

ネットワーク活動では、効率的で安定した農業経営が実現できるように、新技術や施策等の情報を提供したり、会員間の機械や人材の貸借、経営の多角化などを進めています。27年度は、新規に飼料用米SGS<sup>\*</sup>の事業にも取り組んでいます。

さらに情報共有や活動の場が一層拡がるように、他地域のネットワークとの交流も進めています。



会員相互訪問現地研修（乾田直播）



奈義アグリネットとの交流

\*SGS（ソフトグレーンサイレージ）：生糀を乾燥せずに粉砕し密封保存してサイレージ化したもの。

## 2. 個別経営体の経営力強化

倉敷地域の20歳代から50歳代の規模拡大志向農業者（経営規模5～20ha）21戸は、23年度に「倉敷地方稲作研究会」を設立して、研修会や視察等を行っています。また倉敷市東部・早島町（くらしき東地域）では25年9月にJA出資型法人(株)岡山西アグリサポートが設立され、26年から農用地利用権設定による水稻生産に取り組み始め、研究会に加わり地域の担い手として期待されています。

普及指導センターは、経営体の規模拡大と省力化を推進するため「稲作研究会の活動支援」「経営指導」「JA出資型法人の支援」を行いました。

### （1）稲作研究会の活動支援

総会、先進経営体の視察研修（津山市）、野菜や飼料用米現地研修会を開催（夏秋なす・白ねぎほ場見学、中生新千本の低コスト実証検討）しました。今後、複合経営の希望者へ導入品目の情報提供や栽培指導を行います。

### （2）経営指導

研究会員2戸に農業経営コンサルテーションを実施し、中小企業診断士から財務諸表の作成等の指導を受けました。今後、経営研修会への参加を促すとともに経営相談や法人化への支援を行います。



農業経営コンサルテーションの実施

### （3）JA出資型法人の運営支援

水稻作付15haのうち中生新千本、アケボノ5haで湛水直播と乾田直播の省力栽培を導入しました。またヒノヒカリ後継品種の実証ほの設置・調査、たまねぎの栽培では機械化収穫の実演会や技術者連絡協議会での意見交換、28年産たまねぎの育苗指導を行いました。今後はたまねぎの収量向上に向け栽培技術の向上と機械の有効利用をすすめます。



水稻湛水直播の播種作業



たまねぎの機械収穫作業

### 3. 水稻・麦の省力低コスト技術の普及

#### (1) 水稻直播栽培技術の普及

J A出資型法人の他、集落営農組織や個別農家においても省力技術として直播栽培の導入が図られ、安定生産に向けた取り組みを進めています。

#### (2) 麦類肥料コスト低減技術の普及

鶏ふんを基肥に用いた場合、肥料コストは慣行と比較して半減します。しかし、散布機械が必要なこと、散布作業が天候や周囲の状況に左右されるなどの課題があります。

そこで本年度は新しい基肥一発型肥料の実証に取り組みました。新しい肥料は従来の一発型肥料より窒素配合割合が高いため、散布作業の省力化が図られます。本年度の収量・品質は良好でしたが、特徴として生育後半に肥効が現れるため、倒伏や収穫作業の遅延が生じないよう、28年度産麦で再度実証する予定です。



マニュアルプレッダーでの鶏ふん散布

本年度の収量・品質は良好でしたが、

特徴として生育後半に肥効が現れるため、倒伏や収穫作業の遅延が生じ

ないよう、28年度産麦で再度実証する予定です。

### 4. 複合経営モデルの育成

水稻と労働分散ができる有利販売できる品目や戦略作物の導入による農家所得の向上が求められています。そこで品目の選定と技術習得、新たな飼料用米の取り組みと産地化を支援しました。

J A出資型法人では、加工用たまねぎの機械化体系の試験栽培に取り組み、28年産は2 haの栽培をスタートさせました。

また、稲作研究会、吉備路ネットワークでは白ねぎと夏秋なすの現地研修を計3回開催し、作付けも推進しました。

さらに(農)服部営農組合は、狭畦密植により小豆50aを栽培し、12月にコンバイン収穫し省力化を図りました。

また吉備路ネットワークでは飼料用米SGSを14戸で52haを作付し、J A岡山西久代ライスセンターへ破碎機等が設置されました。

今後、これら品目の労働時間、収益性、技術的課題について取りまとめ、次年度の取り組みに活かします。【9ページ「ご存じですか？」を参照】



夏秋なすのほ場現地研修



白ねぎのほ場現地研修

# 力入れています！

## お盆過ぎても、ももを食べて！ 晩生ももの推進

J A 岡山西玉島北園芸協会もも部会（倉敷市）  
浅原園芸組合（倉敷市）

倉敷地域では、経営の安定化と作業分散のため、「清水白桃」以降の晩生品種の栽培を推進しています。中でも、8月下旬～9月中旬に成熟する「恵白」は、倉敷地域ブランドとして推進しており、現地で調査所を設置して特性調査を行なったり、苗木の購入費用の助成をするなど、高品質安定生産に向けて取り組んでいます。

また、晩生ももの消費を拡大するために地元スーパーでの試食宣伝活動や岡山大学のもも輸出試験に協力するなどの活動も行っています。



晩生品種「恵白」の試食宣伝（イオン倉敷）

## 将来の産地の姿は自分たちで

J A 岡山西船穂町ぶどう部会（倉敷市）

船穂町ぶどう部会は、マスカットの加温栽培中心の産地であり、8月までの出荷量は県内の60%を占める県下最大の産地です。一方、生産者の高齢化や燃料の高騰等により栽培面積の減少が続いているいます。

そのような中、部会では将来にわたって担い手が安心して栽培できる産地にするために、産地計画を策定することを決定し、生産者の意向調査等を実施しています。後継者や市場の意見等も参考にし、より身近な産地計画作りを進めています。



就農オリエンテーション

# 力入れています！

## おいしい「紫苑」の魅力を知ってほしい！！

吉備路温室ぶどう組合（総社市）

総社市では、次世代フルーツの一つである「紫苑」の栽培が広がっています。「紫苑」は、10月以降に出荷される晩生のぶどうで、パッと目を引く赤色の外観と、ジューシーな果肉が特徴です。まだ導入されて数年の新品种のため、組合では、研究会を通じて枝管理や房づくりやなどの栽培技術向上と、高品質果実生産を目指しています。

また、消費者にその美味しさを知ってもらうため試食会を行いPRに努めています。今後も栽培とPR活動の両方を関係機関一体となって進めていきます。



試食宣伝イベント

## きょうも東京へ白桃便は飛ぶ

総社もも生産組合、吉備路もも出荷組合（総社市）

総社市の2つのもも生産組合では、平成25年度から首都圏へ向けた岡山県産ももの販売拡大を強力に進めています。東京の大田市場を経由して、末端の小売店まで視野に入れた販売戦略を展開することにより、岡山白桃の販売が拡大しつつあります。

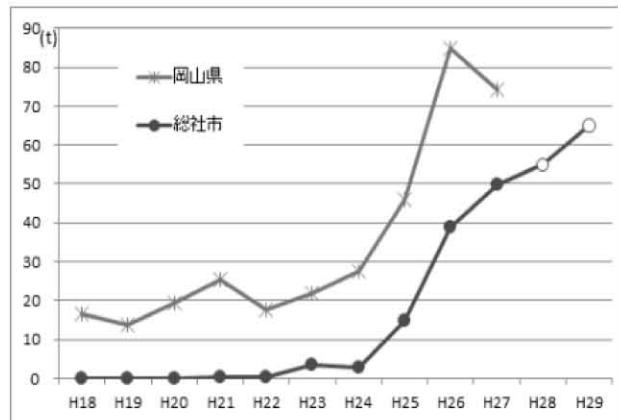
（首都圏における岡山県産ももの販売戦略）

①小売店の販売棚を連続的に確保

- ・出荷を切らさない
- ・栽培体系の確立

②東京までの長距離輸送をクリア

- ・弱せん定栽培による日持ち性の向上
- ・フルーツキャップを使用した荷傷み軽減
- ・航空便を活用した輸送時間の短縮



大田市場における岡山県および総社市産もも入荷量

# 力入れています！

## 連島ごぼうに情報の風～☆

J A 倉敷かさや東部出荷組合（倉敷市）

当組合では、平成27年から生産者へ携帯メールによる情報送信が可能になり、病害虫の初発や気象情報、メディア出演情報などをタイムリーに知らせる体制が整いました。

また、月に1回、販売実績や生育状況、病害虫発生状況、組合活動などをまとめた「モグ丸通信」を発行しており、組合内の情報共有と高品質安定生産に役立てていきます。

日本一のごぼうづくりを目指してがんばろう  
**モグ丸通信** 5月号  
平成27年5月  
JA倉敷かさや  
連島ごぼうセンター

本ごぼうの出荷が4/24にスタートしました。  
これから販売方にごぼうの出荷が続きますが、計画的な収穫と選別の徹底で品質のいいごぼうを継続出荷していきたいです。ごぼうは日曜日も休まず、日々運営してますので、体調管理にも注意して気元にがんばりましょう。

1. 販売状況

品目	4月上旬	4月下旬	5月上旬
販売数量(kg)	12,104	8,420	659
(出荷日)	99%	107%	100%

本年は、出荷当初は生産が若干遅れたため、少ないのに荷重でしたが結構良くスタートしました。  
その後、ゴルゴンツラーフックの好天により生産が一気に進み、5月上旬には出荷量(3万t)の約半分を突破するなど、順調な販売が続いているため、今後も販売が伸びる見込みです。今後も天候に左右されず、順調な販売が続ければ、年内まで販売が可能になります。

今月では、やや早いほれ、秋葉などで前半よりいちじく出荷の発生がひどくなっています。土壌消毒時の水没被害や、4月の寒波等の影響等考慮残照して次年度に込かしめよう。

2. 横品状況

3. 出荷方法等について

4. 気象状況

5月上旬の横品では、適正な選別ができており品質の良いごぼうが多くあります。  
そこで、形が悪いものや根(小さな根瘤を切断して木にしたものの)のもの、アフリの悪いものが混入しているものがありましたのでご注意ください。  
今後も天候に左右されず、順調な販売が続ければ、年内まで販売が可能になります。  
今月では、やや早いほれ、秋葉などで前半よりいちじく出荷の発生がひどくなっています。土壌消毒時の水没被害や、4月の寒波等の影響等考慮残照して次年度に込かしめよう。

「モグ丸通信」(A4版、両面刷り)

## 春ねぎ栽培に取り組んでいます！

J A 岡山西吉備路白ネギ生産出荷組合（総社市）

J A 岡山西吉備路白ネギ生産出荷組合は長期出荷を目的とし、秋冬ねぎ（11月～2月出荷）に続く春ねぎ栽培に取り組んでいます。春ねぎは抽だい（ねぎ坊主）の発生が問題になることから品種試験を行いました。その結果、晚抽性の品種「龍まさり」または「羽緑一本太」を用いることで抽だいがなく、5月上旬まで出荷を延長できることがわかりました。

春ねぎ品種別抽台率調査結果	
品種名	抽台率 (%)
春扇	32
羽緑一本太	0
龍まさり	3

(平成27年4月上旬)



左から羽緑一本太、龍まさり、春扇

# 力入れています！

## スイートピーの落蕾を防ぐには…

J A 岡山西船穂町花き部会（倉敷市）

倉敷市船穂町産スイートピーは、温暖化の影響による高夜温等の天候不順により、出荷はじめとなる11～12月頃にかけて落蕾症状が常態化しています。

そこで、ヒートポンプによる施設内冷房とLEDを光源とした電照による落蕾症状の軽減効果を確認するため、地元後継者クラブでは、プロジェクト活動（調査研究）を花き部会や農業研究所等の協力を得ながら行っており、その成果が期待されています。



後継者クラブ員による落蕾調査

## 新規参入者さん、いらっしゃい！

新規就農希望者、新規就農者（管内全域）

倉敷地域の次代の農業を担う人材確保に向け、関係機関や倉敷地方新農業経営者クラブ連絡協議会が連携して、新規参入者の確保に努めています。

県内外の就農相談会への積極的参加や、就農オリエンテーションの開催、現地相談の実施により、就農支援制度等、就農希望者の状況や適性等を踏まえ、関係機関等と協力しながら、就農準備を支援しています。



就農相談



就農オリエンテーションの開催

# 力入れています！

## 農家のための経営研修会を開催しました

認定農業者・新規就農者（管内全域）

認定農業者や新規就農者を対象に、農家経営に役立つ研修会を開催しています。

「農業簿記の基本・決算」「自分でできる経営診断」など、経営を考えるうえで大切な知識の習得を進めています。

自らの経営を分析する力をつけ、今後の経営を改善・発展させる計画づくりに役立てていただくことを期待しています。



経営研修会（9月25日）

## 「初心者講座」開催で農業者の6次産業化の夢を“見える化”

6次産業化志向農家（倉敷・井笠地域）

6次産業化で新たな商品開発や販路拡大を図ろうとする意欲的な農業者を対象に、今年度初めて「6次産業化初心者講座」（全3回）を備中県民局等で開催しました。

講座に参加した16名の農業者は、第1回目（10/30）と第3回目（12/16）の講座で販売の専門家による事例紹介や演習を行い、第2回目（11/5）では先進農家を訪問して、自らの6次産業化の夢の“見える化”を図り、今後の取組みが期待されています。



販売の専門家による事例発表（10月30日）

# ご存じですか？

## 稻SGSに期待！・・・

吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク（34経営体）は、本年から新たに新規需要米部会（集落営農7組織と個別経営体7戸）を立ち上げ、約52haで稻子実発酵飼料（稻ソフトグレーンサイレージ＝稻SGS）の栽培を始めました。

この稻SGSは、米を粒のまま碎いて発酵させる家畜の餌で、高騰する輸入穀物の代替として牛へ給餌する予定です。

米価下落が懸念される中、この取り組みが新たな収益源となるよう期待しています。

今後も積極的な耕畜連携を進め、稻作農家の経営安定に繋げたいと考えています。



稻SGS調製機械（左：攪拌機、右：破碎機）

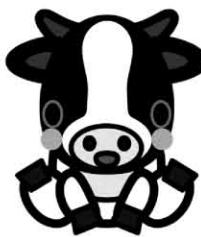
## 牛のサシバエ対策

サシバエの吸血時の痛みによるストレスで家畜の生産性は低下します。1匹のサシバエは乳牛1頭の乳量を0.7%低下させるという研究報告もあります。※9～10月、1頭あたり1,500円の損失。飼養頭数40頭規模で約6万円の損失。

ハエ対策の基本は幼虫対策です。空中に飛んでいる成虫（生存期間：約1カ月）より、行動範囲の狭い幼虫に対策する方が効率的です。3月頃から幼虫用薬剤の散布をおすすめします。

### 〈サシバエの特徴〉

- ・発生源は家畜の糞や堆肥。
- ・5月から発生し10月初旬がピークとなる。
- ・雄雌とも吸血し、朝夕2回吸血する。
- ・昼間と夜間は外で休憩している。（樹木や葉の裏など）
- ・生涯に産む卵の数は約800個。
- ・25℃の環境下では1週間で羽化する。



吸血直後のサシバエの成虫

（原稿提供：農畜産物生産課 畜産第一班）

## 夢のある元気な農業経営のために ～家族経営協定のすすめ～

### ● 「家族経営協定」とは・・・

家族農業経営において、経営方針や役割分担、就業条件、就業環境などについて、家族みんなで話し合いながら取り決めるものです。

家族間の十分な話し合いにより、家族員一人ひとりが、意欲とやり甲斐をもって経営に参画できるようになることを目指します。

### ● 活用できる制度上のメリット

家族経営協定は、家族内の話し合いを着実に進めるための手段の一つですが、同時に、協定内容を実行する中で、農政上の関連制度を活用する場合のメリットとして、例えば次のようなものがあります。

- ①認定農業者制度を活かす時に(認定農業者の共同申請)
- ②農業者年金の有利な加入を図る時に(保険料の政策支援)
- ③青年就農給付金を夫婦2人で活用する時に(通常の給付に対して、夫婦合計で1.5倍の金額を受け取れる制度)
- ④農業制度資金を借りる時に(制度資金の融資を、女性や後継者名義で受けられる仕組み)
- ⑤優良農地のあっせんを受ける時に(農業委員会が作成する農地のあっせんの受け手「買い手や借り手」となる候補者名簿に夫婦両方の氏名が搭載される仕組み)

なお、こうした各種の制度を活用する場合には、家族経営協定の締結内容に盛り込むべき一定の要件がありますので、普及指導センターへおたずねください。



家族経営協定（親子間）の締結

祝

受賞おめでとうございます

## 農事功績者表彰（緑白綬有功章）

### 平本雅夫さん（倉敷市）

マスカット・オブ・アレキサンドリア栽培に長年携わり、優良系統の選抜、高品質安定生産技術を確立された他、岡山西農業協同組合船穂町ぶどう部会長、岡山県農業士として、新規就農者の技術習得体制づくりを進め、産地の発展に寄与されました。



## 岡山県農林漁業功労者表彰

### （知事表彰）

### （農林水産部長表彰）



三宅重信さん

〔総社市、集落営農〕



中桐久雄さん

〔倉敷市、ぶどう〕



井上 学さん

〔倉敷市、スイートピー〕

## 矢野賞

### 秋山陽太郎さん（総社市）

平成12年に就農し、高品質もも生産、ものの大規模専業経営を実践し、平成22年からは、総社もも生産組合長として、岡山白桃のブランド化、首都圏への販路拡大、規格外品の販路提案、担い手の確保と育成など、産地拡大に尽力されています。

また、青年農業者クラブ、地方協議会、県協議会の役員、総社市農業委員などを歴任し、幅広く活躍されています。



祝

受賞おめでとうございます

### 生き活き岡山大賞

総社もも生産組合（総社市）

モモシンクイガの検疫で厳しい規制がある台湾へ、平成24年度から桃の輸出を開始しました。台湾での‘岡山白桃’のブランド化に貢献されてます。



### 岡山県農山漁村生活交流グループ活動表彰(奨励賞) 福田すみれ会（倉敷市）



新しく農業始めます！どうぞよろしく



小見山 裕之さん  
(倉敷市、ぶどう)



高見 宗太郎さん  
(倉敷市、ぶどう)



竹中 祥晃さん  
(倉敷市、もも)



中原 憲佑さん  
(倉敷市、いちご)



剣持 孝明さん  
(総社市、メロン・セロリ)



三谷 直司さん  
(総社市、もも)

※平成27年4～10月までに新規就農者として市、町から報告のあった人のみを掲載しています。

# はじめまして！新農業士です

## 浅野浩一さん（倉敷市）

〔基幹品目〕 スイートピー

オリジナル品種の育成や蔓のネット誘引技術の普及、4色セットの商品化、研修生の受入による新規栽培者育成など、産地振興に貢献されています。



## 中桐久雄さん（倉敷市）

〔基幹品目〕 ぶどう

選果の厳格化と果専店等でのPRによるアレキの商品性強化や部会の新規栽培者育成体制の強化に取り組まれ、産地振興に貢献されています。



## 假谷徳夫さん（総社市）

〔基幹品目〕 トマト、もも

施肥や灌水方法、排水対策を工夫し、消費者が好む味の高糖度のトマトやももの生産を実現され、地域のモデル農家として活躍されています。





# 岡山県備中県民局農林水産事業部 備南広域農業普及指導センター

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島1083番地

TEL (086) 434-7047 (革新農業推進班)

(086) 434-7048 (担い手・農産班)

(086) 434-7049 (園芸班)

FAX (086) 421-8253

E-mail kura-fukyu@pref.okayama.lg.jp

HP <http://www.pref.okayama.jp/soshiki/95/>

農畜産物生産課

TEL (086) 434-7033 (畜産第一班)



備南広域普及

検索